



議会だより

No. 16

発行責任者：南魚沼市議会議長 峠 住 一 編集：議会広報編集特別委員会

- 9月定例会の傍聴者 **17人** (延べ) でした



中学生海外派遣研修

決算審議・質疑応答	2～3 頁
市長所信表明	4 頁
一般質問	5～14 頁
こちら常任委員会	15～17 頁
9月議会主な議決結果	18～19 頁
中学生海外派遣事業	20 頁

平成19年度決算認定される！

年度別一般会計決算額の推移

(万円未満切り捨て)

年度	歳入	歳出	形式収支	繰越財源	実質収支	備考
19年度	277億8,316万円	273億3,732万円	4億4,584万円	2,129万円	4億2,455万円	市
18年度	292億1,128万円	286億9,423万円	5億1,705万円	3,948万円	4億7,756万円	市
17年度	297億2,070万円	292億2,075万円	4億9,995万円	7,888万円	4億2,106万円	市+町
16年度	309億2,310万円	303億0,695万円	6億1,615万円	5,947万円	5億5,667万円	3町

(16、17年度は広域連合を含まず)

質疑応答

平成19年度一般会計決算

(抜粋)

総括質疑

質疑

経常収支比率が約4%も悪化している。この点に不安を感じる。実質公債費比率は改善しているが、単年度収支も減っている。病院と水道に欠損が常態化している。今の状況から今後どう考える。

答弁

経常収支比率の悪化については注意する必要がある。改善のためには収入の確保、経常支出の減少をしなければならぬ。地方交付税の動向も見えない。憂慮はしている。

質疑

長期中期的に内部経費事業計画を見直しなからやっていくべきだが、考え方はどうか。

答弁

不要部分を取りのぞいた。内部経費、事業計画は毎年見直しをかけている。施策評価、中長期的な計画も当然見直しをしている。3年ごとの見直しをしている。

歳入

質疑

滞納の8割が固定資産税というが、収納率が0.4%下がった。0.4%といえども問題だ。手をゆるめずにやるべきだ。

答弁

滞納者は1,855人だ。平成18年度は1,891人だった。

高額滞納者の改善は、努力をしているが、分納で納めてもらっても追いつかない。

質疑

保育料の滞納者への対応

応は。

答弁

平成9年度からの滞納者がいる。全体で81人いる。総額86万9千円である。卒園した人もいる。基本的には分納誓約書を頂いている。厳しい状況の人もいる。誓約書を書いていない人もいるがお願いしている。払わなくて済むことのないようにする。

質疑

中之島診療所負担金設定の理由は何か。維持修繕、設備改修、収支の状況についてはどうか。

医師の居ないところに

来て頂いた。市がもつと面倒見るべきではないか。事務スタッフも居ないの

で対応すべきだ。

答弁

平成17年まで委託であった。平成18年以降10年間の指定管理者となった。収支は平成18、19年と収入プラスの状況であった。維持修繕について医師から相談が来ている。資金

総務費

質疑

通学バスの運行基準は、子供たちの安全という点から見ると厳しいのではないか。この地でもTVであるような事件も考えられる。

答弁

平成19年に運行基準を作った。小学校で2.5km、中学校で3kmその他距離以外の各事情によるとしている。これによると併前のものが通学区域からはずれるものもあるが、2年間はそのままできたい。要望は来ているが、

審査会に上げている。夏場は歩けるところは歩くのが大切と考え冬場は安全を考えたい。公平性もあるので、その個々の状況を総合的に精査して対応する。

民生費

質疑

保育園施設に於けるエアコン関係について、保護者の声が届いていないのか。基本的に温暖化の中で暑い日が昔より1ヶ月くらい長くなっている。どういう計画でやっているのか。

答弁

大和地区は合併前に出ていたが、塩沢六日町は今年度合併補助金1、600万円で乳幼児室に設置した。

質疑

DVや子育て放棄、そういうものが多くなってきた。子育て支援課と教育委員会が協力できる支援体制の考えは。

答弁

要保護児童対策地域協議会の連携の中に教育委員会、教育振興会、小中学校校長会がはいつているので密にやっている。従来、就学指導委員会に保育士も来ているが、

この協議会設立により助かっている。

質疑

家庭で不要になった本を寄付していただき、本のリサイクルをしてみたらどうか。保育施設だけでなく、老人ホームにも本が不足している。地域開発センターにも利用できるが。

答弁

図書について市として取り組んでみたい。

商工費

質疑

祭り関係補助金について、今後出来るだけ職員を減らし、地元というのが、今後は祭りの運営を民へと移していくのか。

答弁

基本的にはそうだ。警備会社や、シルバークリマなど予算の中に入れて頂き、少しずつ職員を減らしていきたい。

消防費

質疑

サイレン吹鳴柱について、今後どう進める。

答弁

135柱あるが、半鐘が85カ所ある。平成20年に9基サイレンとし、毎年8から9カ所ずつサイレンとする。

消防団員の危険性を考えてサイレン化を進めている。停電時等を考え、外した半鐘も低い位置に取り付けている。

教育費

質疑

スキー選手で小学生が活躍しない。湯沢町は行政とスキー協会が主催し合宿している。湯沢町と連携がとれないか。

答弁

全国大会以上に出場する選手には棚村基金から補助する。湯沢町との連携については将来的には連携したい。

質疑

天地人の普及で教育上どう取り組み、成果、ねらいはどうか

答弁

旧六日町時代に「二人の英雄」を配ったが、資料や表現の工夫を加えて市内すべてに配った。使の方は「義」と「愛」の心をどう伝えるかである。これは一人一人を大切にすること。教育特区へつながった。例えば、五十沢小学校は研究し、米沢に行ってきた。六日町小学校は修学旅行で米沢の小学校と交流を持った。

質疑

学校給食費は平成17年以前の方から納入計画に沿って払われているのか。

答弁

計画書により納入通知をしている。しかし納入できていない。納入計画自体も出していない人が3人いる。計画通り進まない事もあるが、強い指導差し押しという強行もある。引き続き努力をする。

質疑

学校給食センター方式事業費で、県の外郭団体学校給食会を通して、材料を購入しているが、内容と地産地消の関係はどうか。

答弁

学校給食会へは米、副食で大きな部分を占めている。約1割が、地産地消である。地産地消を進めたいが、量的な面からこうなっている。生産者団体と話していく。

経常収支比率とは…



数字が高いほど自由に使える予算が少ないという指標

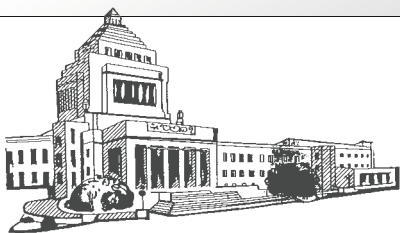
—南魚沼市の経常収支比率—

- 平成19年度……93.2%
- 平成18年度……89.1%
- 平成17年度……91.3%

意見書提出しました

郵政三事業に関する意見書

道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に関する意見書



市長所信表明

(抜粋)



保健・医療・福祉について

本年4月から長寿医療制度（後期高齢者医療制度）が始まりましたが、様々な意見や批判が多く寄せられたことから、制度の根幹は維持しつつ、きめ細かな措置を講じるよう一部見直しが行われました。

保険料の納付方法は、原則として年金からの納付（特別徴収）となっておりますが、要件を満たす方については口座振替（普通徴収）による納付ができるようになりました。

低所得者の保険料の軽減対策として、今年度においては経過的な措置がとられることになりました。

微量採血穿刺器具の不適切な使用が、平成5年度から平成16年度までの六日町地域での糖尿病予防教室において確認されました。対象者の検査を行い穿刺器具によると思われる感染は認められませんでした。

教育・文化について

五十沢地区の小学校統廃合事業について、統合協議会において実施設計の検討作業を進め、また校名を広く市民から公募し、今年度中に決定できるように進めています。

今年度から国際交流基金を活用して始めた中学生海外派遣事業は、8月10日から8日間の日程で実施しました。生徒20名が、米国アイオア州、オレゴン州でのホームステイを体験しました。

トキめき新潟国体の競技別リハーサル大会の第32回全日本都市対抗テニス大会、第43回全国

都市基盤について

7月27日の集中豪雨災害による被害額は数億円に上ると見られ、公共土木施設及び農林水産施設の国庫補助災害査定を受けながら一刻も早い災害復旧に努めています。

大和スマートインターは、大河ドラマ放映前の12月初旬から本格稼動することになります。

地域高規格道路・八箇峠トンネル（南魚沼工区）が、平成25年頃の十日町市八箇から当市野田間の供用開通を目指し、約3キロメートルのトンネル工事が本格的に着工されました。

産業振興について

水稻の作柄は平年並みが見込まれており、消費者の期待に込められる安全・安心で高品質な、良食味米が出荷できるよう努めてまいります。

八色西瓜の集荷状況は、昨年

を上回る約44万玉を集荷することができました。また、販売状況につきましては、気温の高い日が続く販売は堅調となり、八色西瓜生産組合発足以来最高の販売額となりました。

「南魚沼市兼統公まつり」は、天地人をご縁に長岡市の与板衆や、旧白根市の大風揚げの皆さんからもご協力をいただき、大いに盛り上がりました。

天地人関係では、新潟県ロケが9月6日からスタートし、南魚沼市には8日から12日の日程で、主演・妻木聡さん他多数のキャストの来訪がありました。今回のロケにより市民全体が更に盛り上がることを期待するところでありました。

FIVB（国際バレーボール連盟の略）直轄のバレーボールトレーニングセンターの南魚沼市の「上の高原体育館」への設置が決定しました。

「何事にも、前向きに、自分の信じたことを、決して怯まずに勇気をもって進めば道はひらける」をモットーとして、「決

断と実行」の市政を4年間貫いてまいりました。幸いにも「自然・人・産業の和で築く安心のまち」づくりは概ね順調に進めることができたと思っております。今後も「地域完結型社会」の実現のために掲げた各施策を推進するに当たり、どんな困難があろうとも諦めず、怯まずに全身全霊を傾けて努力いたす所存であります。

また、「天地人」の放映とトキめき新潟国体の開催を間近に控え、活力ある南魚沼市を全国に発信するためには、市民と行政の一体となった取り組み、知恵と力の結集こそが肝要であり、それが市の将来の発展につながる「かぎ」であると考えておりますので、市民の皆さまの更なるご協力をお願い申し上げます。



人件費削減を

答 職員削減で対応していく



牧野 晶 議員

① 予算に対する人件費比率を下げなければ市民サービスの向上・維持はできないのではないかと。

② 5年間の財政健全化計画の中で職員給与の5%カットを3年間の計画・実行をし今年度が最終年度の計画である

が、現在の社会情勢を考えると延長するべきではないか。

「明日伸びる為に今縮む」という言葉で市民に我慢を求めている点があるが、市民には5年の我慢で、身内には3年という事にとらわれないか。

市長

① 人件費を下げる事は考えなければならぬ。

現在の人員削減計画に沿って人員削減で対応していく。

② 財政問題の見通しはついたと考えているし財政健全化計画でも見通しはついたと考えている。給与カットは当初の予定通り本年度で終了する。今後も仮に財政に見

若者の雇用の場を

牧野

若者の雇用の場確保を。

市長

成人式のアンケートで半数の方は地元での就職を希望している結果もあり、最大限の努力をしていく。

上の原強化合宿所 どう生かす

答 地域の活力剤として



山田 勝 議員

世界初である常設のバレーボールトレーニングセンターが、来年4月、上の原高原体育館に開設することはバレー界の人

市長

間として非常に喜ばしい限りである。年間を通して多くのプレーヤーが集い、様々な関係者も訪れる。また、低迷する地域スポーツに対してこのことをどう活用していくのか。この施設に対してどう支援していくのか。

当面、バレー専用コートに改修し、トイレ、外壁等の補修を行う。

市長

バレーボールは裾野の広いスポーツである。市としてスポーツ熱が高まるようきちんとPRし魅力を伝え、市全体の活性化につなげたい。来年度はソフトバレーとママさんバレーの全国大会を行いたい。小学校3年生以上のジュニア強化指導センターも併設され、男子を含む中学、高校生の指導も計画されている。

地域スポーツの再構築

を図りつつ技術を等の底上げを図る絶好の機会だ。市の知名度アップや観光に活用するために、他のスポーツセンターも誘致できるとした対応をしていく。



上の原高原体育館



EM菌活用で下水などの浄化促進はかれ

答 もう少し経過をみたい



岩野 松 議員

人間に害のない有効な微生物群—EM菌は、抗酸化力が高く、EM技術利用によって、「安全、快適、低コストで高品質

で持続可能な」解決が、

いろんな分野で可能になる。多くの外国、自治体、

学校なども取り入れ、環境浄化に努めている。当

市でも米のとぎ汁EM菌を推奨し、広報等に掲載

し、多くの市民が活用すれば、浄化槽の悪臭や汚

泥も減らせるのではないか。行政も参加すること

で活動が前進するのでないか。

市長

平成15年、辻又などの合併浄化槽にEM菌を利用し、経過をみているが、

はつきりした効果は見えない。経過をみたい。各々が広め、使用するのに異

存はない。

広島平和式典に中学生派遣を

岩野

原爆が落とされて63年、一般市民が大きな犠牲になった戦争だった。その

反省に憲法9条はある。

広島平和記念式典に全国から中学生が参加し、広

島市は資料館見学、被爆者との直接対話にも応じ、

参加した中学生は非常に成長する。県内参加自治

体も増えている。当市も参加させないか。

市長

まず地域の地道な運動から。急にそう言われてハイわかりましたとは言えない。

自殺予防対策の強化を

答 専門機関と連携する



阿部 久夫 議員

全国の年間自殺者は1998年から10年連続3万人超の異常事態になっており、その数は年間交通事故死の4倍である。

本県の自殺率はワースト6位、その中で南魚沼

市は4位と県内でも上位になっている。意識調査

でも自殺の実態を「知らない」人が多く、周知不足

の状況が浮き彫りになっている。

当市も自殺率が高いことから、今後自殺予防に

関する講演会や広報誌やチラシを使った啓発活動

をやり、対策の強化を図るべきである。

市長

専門医による個別相談や、保健所でも医師による「心の健康相談会」を

設ける。また専門機関である医療機関や保健所と

連携しながら「相談窓口」を設ける。

阿部

県は9月に「自殺予防推進月間」を設立してい

るが、消防署が火災予防を行っているように、其

の時ばかりでなく、平日

頃の予防対策が必要だ。

市長

大和病院長の宮永先生を中心に予防対策をやっ

ており、自殺願望は一種の病気であり、病気になる

りそうになったら安心して相談して頂きたい。



原爆ドーム

大河ドラマ放映後の 効果増幅は

答 原風景を最大限にみかく



中沢俊一 議員

首長3期目を控え、千載一遇と言われる大河ドラマ放映後の効果増幅に向けて現場にどう指示を与えたかを問う。重要ホ

イントは次の3点。いずれも具体的な動きを始めないと間に合わない。

- ・ 当市の持つ未発掘のものを含めた観光資源の再構築。会津では大胆な広域観光に取り組んだ末、「新撰組」放映後も年々、入込客を増やしている。
- ・ 異業種間の組織化。効果的かつ斬新さが必要。
- ・ 少年・直江兼続像は、当市固有の財産。謙信を凌ぐと某文豪は評価

した。深く掘り下げればアジア諸国等への発信も可能だ。

市長

宿泊客、周遊者、経済効果などを想定することは不可能だ。具体的な指示は出せない。隣の芝生は青いと言うが、天地人ゆかりの地では、南魚沼市の取組みが最も進んでいるとの声もある。青年会議所のメンバーを中心に「篤姫」ゆかりの鹿児島

に、調査班を送る考えた。魚沼の原風景的なものを最大限に磨く事が観光資源の再構築に繋がっていく。

またガイドボランティアの会や、ネットを通じての情報発信の強化は一生懸命やっていかねばならない。NHKが示した兼続公少年期のテーマは「絆」。連携を取りながら、家



伝世館完成図

24時間無料医療相談で 救急医療体制の整備を

答 基幹病院の
一日も早い開院を望む



寺口友彦 議員

119番通報で急病搬送でないものが救急隊や医師の負担増になっている。24時間無料医療相談を民間に委託し効果をあ

げている所もある。県の救急医療体制との連携と民間委託についての考えはどうか。

市長

基幹病院の救急部門は前倒しでもよいと思うが27年開院を一日も早くしてもらいたい。医師不足に加えてコンビニ受診が増えている。119番通報は負担になっている。治療を受ける前の相談は乳幼児救急で特に効果が

財政健全化計画 2年目の総括と 課題について

寺口

計画達成率をどう評価するか。歳入の確保は79・1%で、来年の税収も厳しい。事務事業の見直しはどの程度進んでいるか。ほのほの広場拡大などの市民の声は市長に届

ある。24時間相談は県と連携しながら民間委託も含め検討する。

市長

計画に2%程足りないがまあまあだ。滞納整理はあまり成果があらう。来年の税収も懸念している。国の景気対策頼みだ。事務事業は3000もあり、その見直しの方法を検討中だ。市民の声を行政に反映させるべく裸の王様にならないように、今後とも気をひきしめてやっていく。



県立新発田病院の救命救急センター

保健医療の情報化（IT化）を 進めよ

答

具体的には基幹病院構想に
あわせ検討

腰越 晃 議員

保健や医療分野の情報化は厚生労働省の計画を基に進められ、医療機関、患者双方に多大な効果が期待されている。

魚沼地域のように高齢化や人口の減少が続く地域で、医療サービスを維持継続していくために有効なインフラである。

情報化の検討を進めていくべきと思うが。

市長

しかし、地域の医療機関全体のネットワーク化や多額の設備投資、システムの標準化、情報保護等の課題もある。

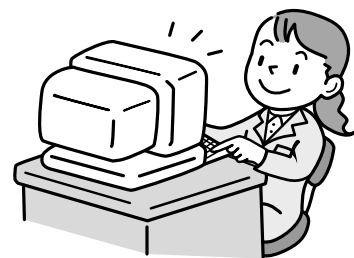
大和病院の情報化の状況はレセプト電算処理、入院患者情報の病院内でのデータベース化が実施済みである。

地域医療の議論は平成27年開院予定の魚沼基幹病院構想に集約されるが、この中に市が主体的に大和病院を核として、

電子カルテ、オーダーリングの各システムについては入院患者情報管理のバージョン・アップとして検討を進めたい。医療機関のネットワー

ク化については重要であると捉えているが、導入費用・各機関のシステム統合、個人情報保護などの課題が多く時間がかかると考えられている。またICカードを使用した患者情報の共有化を進めたいと考えている。

情報化の具体的な検討は、今年度中に明らかにする基幹病院構想に併せて必ず検討を進めていく。



明日の地域医療を どう守るか

答

最大限地域資源を活用し
医師確保に努める

佐藤 剛 議員

今、基幹病院の「カタチ」と同時に、日常的な医療の現実から明日の「地域医療」をどう守るのが重要だ。医師確保

と合わせ病診病連携を市が主体で作し、医師不足の中の地域医療を守るシステムが必要でないか。

して、医師確保に努める。連携も含め現在の医療が後退するようになってならない。

特別支援教育の
体制は整ったか

佐藤

公立病院改革は、経営面だけでなく、地域の医療は「公」が責任を持つというスタンスが必要。基幹病院協議の場では、市民の安心安全のため市民の声を代弁して欲しい。

発達障害については、早期発見、早期療育の開始が重要であり、教師の「気づき」が重要だが、校内体制はどうか。

市長

最大限地域資源を活用
ある。保育園では40人の

加配保育士で対応しているが、教育的支援が必要な児童に対し、介助員は不足でないか。

教育長

専門性が求められるが、学校内では目が離せず研修の時間が取れない。介助員は学校の状況による。



8/28に行われた魚沼地域医療整備協議会（大和庁舎）



答 食料安全保障政策が重要

南雲淳一郎 議員

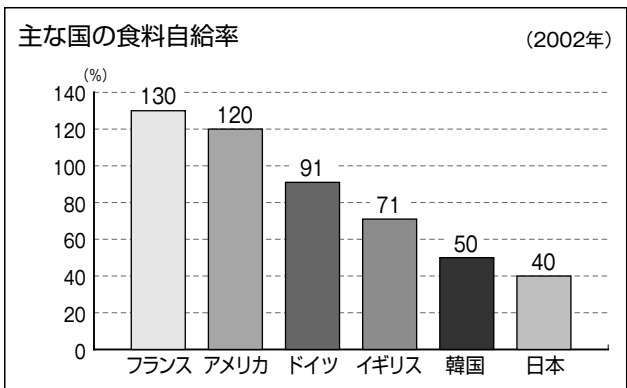
近年世界的な規模で食料価格高騰や絶対量不足による「食料危機」が発生している。日本においても影響は大きい。

日本の農政は 転換すべき

- ① WTO交渉が決裂したが、今後は基礎的な食糧は国内で生産するという国民的合意が必要だ。
- ② 食料自給率向上については、イネの生産拡大による自給率向上政策を国政の中心に位置付けるべきだ。
- ③ 価格保障や所得補償政策を真剣に検討し、減反政策を早急に見直すべきだ。

- 市長**
- ① 日本の食料安保を世界に発信すると共に国内農業体制を整えることが重要だ。
 - ② 主食用米以外のコメの拡大を推進すべきだ。当地においては適地適産の観点から主食用米の拡大を図っていく。
 - ③ 減反政策が実施されているなかで就任以来可能な限り作付拡大に取り組んでいく。今後も推進していく。国へは

食料安保の重要性を訴えていく。



答 妊婦の里帰り助成を実施で検討する

中沢 一博 議員

日本一子育てしやすい南魚沼市をめざして。出生率と女性の就業は、女性の労働力率が高いほど出生率も高くなっている。

- ① 妊産婦無料健診の公費負担を14回完全無料化を求めるが。
- ② 妊婦が県外へ里帰り出産する時に健診の助成は出来ないか。
- ③ 子どもの医療費軽減助成を中学3年まで拡充の考えは。

- 市長**
- ① 現財政状況の中では難しいが、極力回数拡充して行く方向で努力したい。
 - ② 里帰り助成は、一旦費用を支払ってもらい、償還払いの方向で実施を前提に検討する。
 - ③ 医療費の0才〜4才のかかる割合が90%に集中しているので、この部分を県下初全額助成しているのご理解頂きたい。

- 中沢**
- 療養病床再編について
- 入院患者から「行き場がなくなるのでは」と言う不安の声が上がっている。当事者の目線に立てば、数ありきの発想ではなく、地域に必要な医療療養病床が確保されるよう、再編するのは当然と考えるが。
- 市長**
- 行き場のない方をつくらないのが、私の決意。



常設保育園の改築、統合後の
民営化計画は

答 中心市街地は検討を進める



井上正三 議員

①改築計画は5ヶ年計画で3施設の計画が示されているが築後30年、50年の施設もあり耐震が問題である。大規模

改修と改築が必要である。

②小学校区をまたいでの統合はせず、児童数の将来と施設の老朽化度等を勘案して計画するということであるが、方針は。

③今後の改築・統合による民営化計画についての方針は。

市長

①改築計画は浦佐、余川、中保育園を検討してい

る。今後も危険率の高い施設を優先に診断し計画していく。

②小学校区をまたいでの統合は行なわないのが基本的な方針である。学区再編の答申を見据え児童数や老朽度等を勘案し計画する。今考えているのは同一学区内の藪神北と藪神南の統合を検討している。

③改築計画のある浦佐、余川、中保育園は改築に合わせて民営化を

討している。今後も改築を行なう保育園については基本的に民営化を検討していくが、児童数の少ない保育園は民営化はむずかしいと思われるので市街地の保育園が中心になっていくものと考えている。



藪神北保育園

メタボ健診で市民の
健康は守れるか

答 多種多様な検診を実施する



和田英夫 議員

老人保健法が改正され、本年4月より40歳から74歳の各医療保険の被保険者等を対象に特定健康診査・特定保健指導の

実施が義務付けられた。受診結果によっては保健指導が行われる制度で、メタボリックシンドロームの予防に着目した検診指導であるが、心電図・眼底検診が除外され心配だ。この検診体制で市民の健康は守れるか。

市長

メタボ健診だけでは守れない。多種多様な検診を実施する事で市民の健康を守る。受診率の向上

に力を入れる。

1ha以上を担い手に

和田

国は今年度、品目横断的経営安定対策から水田経営所得安定対策と名称変更した。面積要件等を緩和し、市が認めれば担い手となり経営安定対策にも加入できることとなった。市は個人で2ha以上、営農組織で10ha以上を担い手との考えだが、国は面積要件でなく意欲

市長

小規模農家・意欲のある農家支援は重要で、安定対策加入も方法だ。関係機関と協議したい。

のある農家を担い手との考えだ。1ha以上を市の担い手に認定する考えはないか。



ゆきぐに大和病院「健友館」

世界への南魚沼市に、レイホー八海
体育館をオリンピックの合宿所に

答 誘致を考えていく



若井達男 議員

上の原高原体育館が、国際バレーボール連盟（FIVB）の専用トレーニングセンター設置に決定した。今後大いに期

待するところである。

当市においても2012年ロンドンオリンピックや2016年開催のオリンピックへ向けて、八海山スキーゾーン及びレイホー八海体育館の活用による外国人選手の合宿基地に手を挙げよ。八海山インターナショナルスポーツセンター、これが世界への南魚沼市へと繋がる。

市長

自然豊かな八海山一帯は素晴らしい地域である。

合宿等を考えた時、休業中ではあるが八海山パークホテル、又、日本大学のセミナーハウスは魅力的な施設である。レイホー八海体育館の利用方法、又外国人選手の生活体系をも考えながら国内外の選手の誘致を考えていきたい。具体的な問題に遅れを

とらないよう今後取り組んでいく。

食用廃油回収を

答 手助けができるよう努力する



牛木芳雄 議員

限りある資源をゴミとして出すのではなく、いかにそれらを有効に利用し、循環型社会に持っていくかが求められてい

る。

そこで提案だが、全国各地の多くの自治体で取り組んでいる「廃天ぷら油」の回収と、それによって作られたバイオディーゼル燃料を公用車に使用してはどうか。近隣の自治体では市内すべてのガソリンスタンドの協力を得て、回収しているところもある。

市長

地球温暖化対策については、まった無しの状態だ。市でも食用廃油のバイオ燃料化を検討したが、費用対効果の面でむずかしい。

廃油の収集システムについては行政としても手助けできるよう努力していきたい。

回収のしくみが構築できれば、それほど困難なことではないと思う。



こんな小さな施設でバイオ燃料を作れます



(左) レイホー八海体育館

北里大学保健衛生 専門学院との連携を

答 包括協定により更に進める



関 常幸 議員

少子化により、私立大
学や専門学校は、淘汰の
時代を迎えている。
当市の北里大学保健衛
生専門学院は昨年設立

年を迎え、現在学生は9
41名を有する。国家試
験100%取得をモット
ーに教職員と学生が頑張
っており、高い合格率を
維持している。
今後の南魚沼市の「学
園都市構想」そして、「基
幹病院」を核としたまち
づくりにより、北里大学保健
衛生専門学院の存在無く
しては考えられないが、
今後の連携は。

市長

まさにそのとおりで、
9月26日には、両者で包
括協定を締結する。
当然市としてできる支
援協力は惜しむものでは
ない。例えば入学のため
の県内高校へのPR等。

市長

この秋米の試食をや
つてみたい。そして、
危機意識と同時に誇り
をもってもらいたい。

食べ比べてみよ

関

ある会議で北海道産米
と新潟一般米を食べ比べ
た。道産米もおいしくつ
た。このままでは数年後



北里大学保健衛生専門学院

職員の給与カットは今後も 続けていくつもりか

答 平成20年度で終了させる



笠原喜一郎 議員

20年後の市の人口は5
万2千人と予想される。
人口5万人に耐えうる行
政システムの構築と民の
力を借りてのまちづくり

が必要との視点で4点質
問する。
①女性の就業率向上を図
る意味からも保育料の
30%軽減の考えはない
か。
②教員OBを教育委員に
活用しないともってい
ない。OBなど民の力
を活用して基礎学力を
身につける体制を整備
すべきである。
③人事院勧告の本旨は官
民給与の均衡である。
一人平均690万円の

給与は均衡ある額と思
うか。5%カットを今
後も続ける考えはある
か。
④野球場建設は断念した
との噂もあるが真意は、

市長

①保育料の軽減が一番や
りたい部分である。見
通しがつけばやりたい
がいつやるかは明言で
きかない。
②大物OBが教育委員な
どになると教員が萎縮

してしまふ。今後も登
用しないということでは
ないが、OB以外の
熱意のある人がふさわ
しいと思っている。
③職員の給与カットは財
政の見通しがたったの
で平成20年度で終了す
る。
④やめたなんてことは一
回も言っていない。平
成22年に調査設計を行
っていく予定である。



市 役 所

AED設置場所の マップ作成を

答 早急に作成を検討



樋口和人 議員

AED（自動体外式除細動器）については、平成16年7月に、一般市民でも使用できるようになったことと、この地域で

は、震災復興基金の活用により近年急速に設置台数が増えてきた。市内でも102台が設置されている。またこれにともない市民の皆さんの救命講習への参加も増えている。

しかし、設置の状況として、建物の中で施錠されている所にあるもの、夜間は利用できないものなど様々であるし、それ以前にどこに設置してあるかもまだ周知されていない。

ない。そういった情報が一目でわかるAEDの設置場所を示すマップを作成すべきと考える。

市長 消防本部の装備等を含めると市内で123台のAEDを確認している。市のホームページでの公開、12月には一覧表を作成の予定であるが、視覚的にわかりやすいマップの作成を検討し、消防団

や行政区長に優先的に配布をする。また市の建物の中に設置されて施錠されているものについては、緊急の場合は建物のガラスを割るなどして使ってもらいたい。



AED（自動体外式除細動器）

介護保険の 見直しで改善を

答 機会をとらえて要求する



笛木信治 議員

①介護従事者への介護報酬の引き上げを要求すべきだ。
過去2回の改定で介護報酬は削られた。こ

のため介護の現場では、事業所の収入が減り、低賃金、劣悪な労働条件、人材不足など大変だ。国に対して介護報酬の引き上げを要求すべきだ。

②介護保険料の引き上げはするな。
後期高齢者医療の保険料に加えて介護保険料が上がればお年寄りは大変だ。値上げは避けて、段階も9段階にして低所得者の負担を

軽減せよ。

市長

①第4次の介護保険の見直しでは介護報酬の引き上げは必要だ。国でもそうした方向のようだが、機会をとらえて要求していく。

②まだ総額がわからないのではつきりとは言えないが、上げない方向で改定したい。基金の一部もとりくずしてやりたいと考えている。

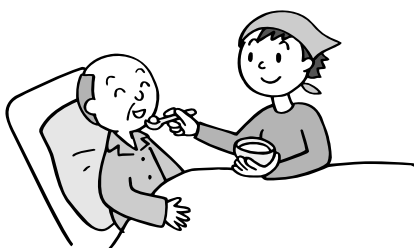
集落営農・認定農家の経営状況は

笛木

集落営農、認定農家の経営が、燃料、肥料、生産資材の値上りで赤字経営が多いというが、調査をせよ。

市長

今は調査していないが補助金他が換算されたらどうなのか、調査しながら対応したい。



六日町病院を核とした地域医療の早期ビジョン策定を

答 必要診療科目など検討は進めている



宮田 俊之 議員

県立六日町病院が基幹病院設置と同時期に市の運営となった場合に必要な診療科目や入院機能など住み分け、また旗振り

を行わないと6万人の市民規模で病院運営に占める割合が高すぎることに

なるに危惧している。早急にゆきぐに大和、城内、中之島診療所、個人医院も含めて関係構築が必要だ。

特に不足している産婦人科・小児科・婦人科の問題は湯沢町・魚沼市とも協議して協力してもらいながら解決するべきであり、ぜひ小児救急も含めた六日町病院の地域医療

療機関としての拠点化の方針を表明すべきだ。

市長

とにかく県が基幹病院のビジョンをハッキリさせてからでないと二度手間になりかねないため急ぐように要望はしている。六日町病院に開業したい個人医師が集まり、モデル化構想も出ており必要な検討は進めているつもりである。

小・中学校の1クラス定員の引き下げを

宮田

先生も全てが熟練した教諭だけでは限らず子供や、学校のためにも市の財政処置による教員の加配をおこなうべきである。

教育長

現在の30人以上のクラスに対して教師を加配すると年額約2億円の経費増となるため慎重にならざるを得ない。

森林で市に元気を

答 間伐材を有効に



遠山 力 議員

この5月に「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」が施行された。

政府は、地球温暖化対

策の目玉的に扱い、間伐計画の大幅な拡大を目指している。

わが市においても、間伐に対する補助を上積みすることで森林業の活性化を図り、市の元気に寄与することを提案する。

次に、麗(うるわ)しかるべきふるさとの山々に、真っ赤な枯れ木が目立つ。急激に拡大しているようだ。市民の方々からも心配の声が聞こえてくる。

市長の所見と対応は。

市長

この特別措置法はあまり評価していない。

政府が本気なら、国有林を含めてもつと大きくやるべきだ。法律であり、県から目標値が示され、それによる計画を作るとされているから、計画は作るのが達成は難しい。

法律の思うように行かないときは、国県も何らかの策を打つだろうし、そのときは市も考える。何もしないということでは

はない。

市としては、間伐材の活用に力を入れ、森林業の活性化をはかっていきたい。

「**枯**れについて、個々の木に対策をとることは不可能だ。

一定期間で終息するというから、経過を見たい。あまりにひどい所は国や県と相談していきたい。



森 林 資 源



全校生徒654名の塩沢中

○期 日 7月28日

○調査内容

①国体について

トキめき新潟国体テニス競技場（大原運動公園）で32回都市対抗テニス大会を現地視察しました。

②防災計画について

防災計画は中越地震前に作成を始めましたが、地震後、県から見直しがあり、今年中に完成させます。資料編、震災編、風水害編と800ページを超えるボリューム大になります。自主防災組織計画を作り各行政区長に12月には配布します。

③認定こども園について

幼稚園教育要領と保育指針に基づいて、教育、保育を一体として行います。浦佐地内の旧大和町交通公園跡地を予定し指定管理の公設民営を検討しています。平成23年4月開園、幼稚園児60人、保育園児120人で合計180人の予定規模で行います。

④税の調定状況について

19年度決算見込み状況や、納税者、滞納者等の表を使つての説明がありました。滞納者は昨年より人数は減るが額は増えています。税目別滞納者は、個人市民税、固定資産税が大半です。金額は固定資産税60%、国民健康保険税が23%を占めています。

⑤その他

- ・大和中学校生徒の水難事故
- ・五十沢地区統合小学校建設計画
- ・ふるさと納税寄付金



トキめき新潟国体テニスリハーサル大会

○期 日 7月8日～9日

○研修テーマ

不登校対策について

○視察先及び内容

八王子市立高尾山学園

八王子市は人口54万人、小学校70校、中学校38校であり例年約500人の児童生徒が不登校であると報告されています。

高尾山学園は様々な理由から登校できない市内の児童生徒を対象に、安心して通える学校として2年間の準備期間を経て平成16年4月に開校しました。国の教育特区認定を受け、学習指導要領によらない学校です。

当学園開校の目的は①児童生徒が「学び体験」を通じて社会に適應し、目的を持って生活できるようにする。②ものづくり等を通じて自立し、生きる力や自信をつける。③学校内外の様々な体験活動により、視野を広げ、豊かな人間性を育成することにあります。

受け入れは年度途中2～4回募集を行っており、児童生徒数はほ

ぼ横ばいの状況です。

学校への出欠の目標値は70%に対し平成19年度実績値は月平均62.4%です。

学校の方針として、生徒の出欠遅刻は自己意思とし、指導していません。

子供達の卒業後の進路は、小学生はほとんど同校の中学部へ進学しています。中学卒業生は90%以上が進学しています。進学先は3部制の昼間定時制が多く、65%から70%が継続できています。

*群馬県太田市英語教育特区校「ぐんま国際アカデミー」も合わせて視察を行いました。



管内

産業建設委員会

管外

○期 日 8月1日

○調査内容

・石打大和・五十沢小川地区の

水道事業(含現地調査)

市の水道事業は上水道が1つ簡易水道が4つです。市営の他に専用水道が7つと飲料供給事業施設として台上小規模水道があります。上水道への編入が困難な石打大和地区への送水管総延長が1千20mで費用は3千万円と算出されています。

・天地人に関する観光振興

天地人博については実行委員会から切り離し、雪国青年会議所主体で新たにプロジェクト展開する予定です。本オープン前に早くオープンさせたいが、主となるNHK関連の展示物は放映後しか展示できません。

・品目横断的経営安定対策

品目横断的経営安定対策は昨年12月に水田経営所得安定対策に名称変更し、加入要件の緩和及び減収補填率等の見直しがありました。
 ・農業委員一般選挙報告と活動状況
 予定されていた農業委員一般選

挙は候補者が定数内だったために、無投票となりました。委員定数は40人から35人に削減しました。

・国土調査の進捗状況

当市は進捗率で24.9%であり、胎内市が90.9%、佐渡市が81.7%ですが、加茂市、見附市では45%となっています。

・その他

・市道認定について
 ・7月27日発生災害について
 (建設課・農林課・商工観光課)



石打大和地区で新設された飲料井戸

○期 日 7月24日～25日

○研修内容及び視察先

1、新潟県新発田市

・猿害対策(モンキードッグの活用について)

新発田市では当初は猟友会による駆除で対応してきたが、現在は生態系を把握するためメスザルに発信器を装着して群れの動向を監視して追い払いをおこなっています。

平成18年よりモンキードッグ事業を実施しました。この事業は農家等で飼育されている犬を警察犬などの訓練所に3ヶ月程度預けてサルの追い払い訓練を受けさせて、実際に活用する事業です。

平成18・19年度は2頭ずつ訓練を受け実施していますが、サルの殺傷を目的としないため狩猟法の適用は受けません。

・歩く旅のまちづくり事業

計画段階から行政だけでなく大勢の市民参画をお願いしたアクションプランは、お休み処の整備や体験観光、レンタサイクルやシャトルバスの運行を実施しています。観光客がゆつくりと楽しめるように配慮されており、市の単独事業となっています。

2、山形県鶴岡市

・エコタウンプロジェクト

基本理念は以下の7項目です。

- ①生活と農業を結ぶ循環とリサイクルシステムの構築
- ②農産物認証とトレーサビリティ
- ③生態系を活用した防除技術の普及と利用
- ④交流の促進
- ⑤地産地消の推進
- ⑥農産加工品の開発商品化
- ⑦農村型生活スタイルの確立

主たる取り組みには、堆肥センターで年間6千トンの畜糞を処理して2千500トンの堆肥を生産しています。

また、食用廃油をバイオディーゼル燃料化する取り組みもおこなっており、燃料化したものを重機やスクールバス等の公用車に使用しており、6千ℓの食用廃油から同量の燃料を精製しています。



新発田市の観光客との交流目的「たまり駅」

管内

社会厚生委員会

管外

○期日 8月4日

1、小川地区の搬入物について

(含 現地調査)

市は平成19年4月19日、小川土沢地区に廃棄物混じりの土砂を運んでいるとの通報を受け、県南魚沼環境センター及び南魚沼警察署に連絡するとともに現地確認と指導を依頼してきました。

一連の経過の中で、平成20年8月末までに廃棄物については場外に排出し、処分業者に処分等委託するよう指導説明し、当事者もその方向で現場の作業をしているとのことです。

2、スラグの利用と環境に対する

影響について

一日約110トンのごみを処理する場合、約6トンのスラグが出ます。日本工業規格（JIS）認定の取得を得るべく、品質管理等努めています。溶質試験、含有試験では、ともに公害対策基本法に適合しており、市町村が自ら発注した公共建設工事に於いて、埋め戻し材として利用しています。

3、後期高齢者医療制度（長寿医

療制度）について

4、枅形山最終処分場について

(含 現地調査)

他

5、その他

- ・認定こども園について
- ・蕨神南保育園と蕨神北保育園について
- ・穿刺器具の使用について
- ・平成20年度住民健診実施状況について



枅形山最終処分場

○期日 7月10日～11日

○研修内容及び視察先

1、埼玉県秩父市「吉田元気村」

「次世代型環境学習施設「吉田元気村」について

美しい自然環境づくりを進める

ために、敷地内に国内初、木質系バイオマス化システムの有効活用を行ってまいります。森林バイオマス（間伐材・森林残材をチップ化して燃料を作る）の収集・運搬のシステム構築と生産されたエネルギーを元気村施設の電気や足湯などに有効利用しています。また、学校給食や家庭からの使用済てんぷら油をリサイクルしてディーゼル燃料に使用しています。

2、群馬県渋川市 渋川広域斎場

「しらゆり聖苑」

・火葬炉選定の根拠と管理運営方法について

南魚沼市斎場計画と同じメーカーの火葬炉を現地視察。公害防止のため、無煙・無臭化するなど最新技術の粋を結集した近代的な施設でした。

・炉メーカーの選定理由は、金額

面とダイオキシン発生抑制か

ら。

市民からの苦情・開設時の研修・維持費・小動物炉等について質疑応答を行ないました。



ちちぶバイオマス元気村

	佐藤剛	今井久美	宮田俊之	高橋郁夫	山田勝	関常幸	中沢一博	寺口友彦	遠山力	牧野晶	関昭夫	腰越晃	阿部久夫	井上正三	樋口和人	南雲淳一郎	種村充夫	岩野松	笛木信治	牛木芳雄	和田英夫	笠原喜一郎	中沢俊一	峠佳一	角谷英一	阿部俊夫	駒形正博	若井達男	松原良道	上村一郎	
	市民クラブ	政策集団かたり	こぶし会	こぶし会	つじクラブ	つじクラブ	南政クラブ	市民クラブ	政策集団かたり	こぶし会	こぶし会	こぶし会	こぶし会	つじクラブ	南政クラブ	南政クラブ	南政クラブ	共産党議員団	共産党議員団	市民クラブ	市民クラブ	政策集団かたり	政策集団かたり	こぶし会	こぶし会	(無党派)	つじクラブ	南政クラブ	南政クラブ	南政クラブ	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	×
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○

	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○
	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	※	×	×	×	×	×	×

9月議会 主な議決結果

表中の記号について

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(※議長は議案裁決に加わりません。)

議員氏名 (議席順)	
採決結果	会派

◎議案

第84号議案	字の変更について	可決	
第85号議案	南魚沼市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例及び南魚沼市特別職報酬等審議会条例の一部改正について	可決	
第86号議案	南魚沼市認可地縁団体印鑑条例の一部改正について	可決	
第87号議案	平成19年度南魚沼市一般会計決算認定について	認定	
第88号議案	平成19年度南魚沼市国民健康保険特別会計決算認定について	認定	
第89号議案	平成19年度南魚沼市介護保険特別会計決算認定について	認定	
第90号議案	平成19年度南魚沼市老人保健特別会計決算認定について	認定	
第91号議案	平成19年度南魚沼市下水道特別会計決算認定について	認定	
第92号議案	平成19年度南魚沼市観光施設特別会計決算認定について	認定	
第93号議案	平成19年度南魚沼市訪問看護特別会計決算認定について	認定	
第94号議案	平成19年度南魚沼市水道事業会計決算認定について	認定	
第95号議案	平成19年度南魚沼市病院事業会計決算認定について	認定	
第96号議案	平成20年度南魚沼市一般会計補正予算(第2号)	可決	
第97号議案	平成20年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	
第98号議案	平成20年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	
第99号議案	平成20年度南魚沼市老人保健特別会計補正予算(第1号)	可決	
第100号議案	平成20年度南魚沼市下水道特別会計補正予算(第1号)	可決	
第101号議案	平成20年度南魚沼市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	
第102号議案	南魚沼地域土地開発公社定款の変更について	可決	
第103号議案	市道認定について	可決	

◎議員発議案

発議第18号	南魚沼市議会会議規則の一部改正について(提出者:角谷英一)	可決	
発議第19号	郵政三事業に関する意見書の提出について(提出者:阿部久夫)	可決	
発議第20号	道路特定財源の一般財源化に伴う地方の道路予算確保に関する意見書の提出について(提出者:笠原喜一郎)	可決	
発議第21号	燃料、肥料、飼料、農業用資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める意見書の提出について(提出者:寺口友彦)	否決	

中学生 海外 派遣事業

20名の中学生がアメリカに8日間派遣され、ホームステイなどの体験をしてきました。

大事な気持ち

五十沢中学校 3年 梶山 愛友

一週間アメリカに行き、ホームステイで日本と違うものをたくさん見たり、聞いたりしてきました。

実際ホームステイをしてみて、私は言葉が伝わらないということがどんなにたいへんなのか、よくわかりました。生の英語は、私たちの耳で聞き取れないくらい、発音が違っていたのです。これを聞き取り、ホストファミリーの言いたいことを理解するのはとても難しいことでした。しかし、わからないことがあったら聞き返すということを繰り返し、少しでも理解しようと努力しました。これをしていくうちに、ホストファミリーは、私にわかりやすいよう、英文をより簡単なものに変えてくれたり、ジェスチャーを使って説明してくれたりしました。こうして少しですが、お互いの気持ちを伝え合うことができたと思います。

アメリカで言葉が伝わらない、わからないというのは、当たり前でした。しかしその中で大事なことは、お互いが自分のことを伝えたい、相手のことを知りたいといった積極的な気持ちではないでしょうか。言葉の壁にとらわれるのではなく、意欲に満ちた気持ちが大それた、私はこの派遣事業を通して感じました。これから私は、今まで以上に積極的な気持ちをもって、日々の学習や生活を送っていきます。

最後に海外派遣というたいへん貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。

12月議会

12月9日(火)より19日(金)(予定)

…詳細は議会事務局へ
(☎773-6650)

議会広報編集特別委員

委員長	牧野 晶
副委員長	佐藤 剛
委員	宮田 俊之
高橋 郁夫	中山 一博
遠山 淳一	中山 力
南雲 淳一	岩野 松
岩野 松	岩野 松

編集後記

平成19年度決算審議及び20年度補正予算を中心に、17日間で9月定例議会が行なわれました。

それぞれの議案について、また、一般質問で執行部に対し、各議員より活発な質疑、提言がありました。「議会だより」では、一部抜粋して示してありますが、市民の皆様にはぜひ議会傍聴のうえ、生の声を聞いていただき、御意見、叱咤激励をいただきたくお願いいたします。

大河ドラマ「天地人」の放映もいよいよあと2ヶ月となりました。市民の皆様もたいへん楽しみにしているかと思えます。

天地人博も含め成功に向け、皆様と共に取り組んでまいりたいと思います。

編集委員 高橋郁夫